

校 園 長 室 か ら



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 7 年 2 月 28 日 第 45 号

アナログかデジタルか

「学習指導要領」というものがあります。

学校で何を勉強するのかを定めたルールブックです。

10 年に一度見直しがされます。現在、次の学習指導要領作成に向けて、議論が始まっているようです。

今回の改定の最大の目玉は、教科書について。

今までは当たり前のように、紙媒体で配布されていましたが、近年登場したデジタル教科書をどのように扱うかが大きなテーマになっています。

デジタル教科書は、いろんな HP にイッキに飛べて、具体的な内容をすぐに調べられたり、実験の動画が見られたり、画期的です。

一方、紙媒体の教科書は、じっくりと眺めて考えたりすることができ、手で本を触る触感があるのが大きいと思います。

では、どちらを取るか。

両方という答えもあります。いわゆるハイブリット。ただ、これには費用が 2 倍かかります。

教育関係でよく取り上げられるスウェーデンでは、最初にデジタル教科書が普及したようですが、2022 年以降は紙媒体に戻したようですし、その隣のフィンランドでも、読解力の低下を危惧して、紙媒体を重視する方向に変わったとか。反対に、韓国やエストニアでは、AI(人工知能)を組み込んだデジタル教科書を採用。

果たして、どうすればわかりやすい授業につなげることができるか。

一度、みなさんで議論してもいいのかな、と考えています。

久しぶりにまじめな話でした。